



令和5年 新年あいさつ



九重町長
日野 康志

明けましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、町政推進に對しまして温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。年頭にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨年におきましては新型コロナウイルス感染症は猛威を振るい続け、昨年末からの感染拡大は第8波にまで至り、コロナ禍の影響により町民の皆様的生活をはじめ、地域経済は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況に對応すべく、ワクチンの接種体制の迅速な確立や地域経済への継続的な支援に取り組んでまいりました。ワクチン接種におきましては、玖珠郡医師会の皆様、看護師、関係者の皆様、そして町民皆様のご協力をいただき、5回目の新型コロナウイルスワクチン集団接種を終了することができました。

また、地域経済対策では、中小企業・小規模事業者の事業継続への支援にも取り

組みつつ、新入学準備支援金事業や九重ふるさと学生応援事業などにより物価高騰等による生活支援対策も実施しています。

このような中、国の「ウィズコロナに向けた新たな段階への移行」等の政策により、社会経済活動との両立に向けた本格的な動きが見えはじめ、本町におきましても観光地としての賑わいが少しずつではありますが戻ってきており、昨年は厳しい状況の中にも、コロナ過からの脱却、ウィズコロナ・アフターコロナ社会に向けた新しい動きや将来への希望の兆しを感じた年でもありました。

さて、令和5年を迎え、まず取り組まなければならないことは、九重町の基幹産業である「観光」と「農業」の再興です。

これまでも、新型コロナウイルス対策と経済対策との両立を図ってきたところですが、観光においては、延長された全国旅行支援策などを有効活用しながら、本町を訪れる皆様に、九重の雄大な自然と魅力を感じていただき、本町の復旧・復興へと繋げていきたいと考えています。

農業につきましては、担い手の育成確保、農業収益の向上などが喫緊の課題であります。今後、生き残っていくためには、産地・農産物のブランド力の向上や農産品の高付加価値化による収益性の確保が必要で、そして、ファーマーズスクールに代表される後継者、担い手の育成事業を活用しながら農業振興に取り組んでまいります。

また、これまで粘り強く取り組んでまいりました企業誘致に関しても蓄となり、そして花開こうとしています。これらの好機を的確に捉え、実り豊かなものにしていきたいと考えています。

ウィズコロナに向けた新たな段階への移行とはいえ、私たちの住む地方、地域においては、その経済的循環や効果を受けるまでには時間差があり、やはり厳しい状況が当面あることは間違いありません。これらを踏まえ、必要なことにはこれからは躊躇なく取り組みつつ、将来的な財政負担の平準化を図りながら、財政の健全化を計画的に進めてまいります。

そして、災害からの復旧復興にも引き続き重点的に取り組んでまいります。災害からの復旧は徐々に進んでいるとはいえ、未だ未着工の箇所も多くあり、町民の皆様も不安に感じられていると思います。安心・安全なまちを目指すためにも、着実かつ早期の復旧を目指してまいります。

人口減少やこれに付随する様々な課題、そして、この数年のコロナ禍、自然災害などにより、本町は大きなダメージを受けてきましたが、ここからまた一歩ずつ進んでいかなければなりません。

今まさに、世の中の価値観や仕組みが大きく変わろうとしている激動の時代でありますが、私は、まちづくりの原点は常に人であると強く感じています。

『人が人をつくる』ということを中心に留め、「豊かなこころ」と「癒しの自然」を未来へと引き継げるよう、自律のまちづくり、持続可能なまちづくりを引き続き全力で進めてまいりますので、皆様方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本年が皆様にとりまして、実り多き輝かしい1年となりますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

謹賀新年



九重町農業委員会

会長 手島 政弘

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、旧年中は農業委員会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当委員会は、令和4年4月の委員改選により新たな体制でスタートし、担い手への農地集積・集約化、遊休農地発生防止・解消、新規参入の促進に努めてまいりました。

「人・農地プラン」は、農業経営基盤強化促進法等の改正により「地域計画」として法定化されました。「地域計画」は、市町村が人口減少、農業就業人口の高齢化と減少に直面する中で、これまでの担い手だけではなく農業を担う者を新たに法律に位置付け、農業に従事する幅広い者による、農地ごとの将来の利用を特定した「目標地図」を柱とする計画を定めたものです。農業委員会では、10年後に地域が目指す将来図、目標地図の素案作りを担うこととなります。また、耕作者の把握、所有者への意向調査を確認するため戸別訪問を行ってまいりました。引き続き農地利用の最適化の活動である、戸別訪問・農地パトロール等を実施し、遊休農地の解消に取り組んでまいります。

今後も、九重町の農業を守り発展させるため、優良農地の確保・有効利用、遊休農地対策に農業委員会一丸となりまして努力をしていく所存でございますので、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、この新しい年が皆様にとってより良き年になるよう心より祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

退任の

ごあいさつ

前九重町教育長

濱田 淳

この度、任期満了により2期6年間務めさせていただいた教育長を退任いたしました。

このえ緑陽中学校長を7年前に定年退職し、その年の12月に教育長に任命されました。この間、こども園、小学校、中学校と地区公民館の連携による「地域に開かれた教育」を実現するため、「このえ学園基本計画」の推進に取組み、一定の成果を上げてきました。「まちづくりは人づくり」を理念に教育改革を進める中、自然災害や新型コロナウイルス感染症により、学校・社会教育の現場は、多大な影響を受けてきましたが、地域の皆様のご理解・ご尽力により、少しずつではありますが、新たな日常を創出してきています。今後の展開を期待しています。

九重町教育行政に対しまして、引き続き、ご支援ご協力をお願いし、退任のあいさついたします。